

教師ノート

週課	第三年 第一一課 第二週
単元	捕囚と帰還
テーマ	神さまは信じて従う者を守り救われる
タイトル	一人でも大丈夫
テキスト	ダニエル 1 章、6 章
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) 詩篇 121:7
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	キミの周りには天と地を造られた本当の神さまを信じている人はどれくらいいるかな？ 家族全員信じている人もいるだろうし、自分だけというお友達もいるかもしれないね。今日は、本当の神さまを信じない人々の国に連れて来られた人のお話だよ。どうなっちゃうんだろうね!?
□ポイント1 ダニエルと三人の少年はバビロンに捕虜として連れてこられました(1章)	エルサレムの町はバビロンのネブカデネザル王によって占領されてしまいました。王様は、イスラエル人の中から王様の家族や貴族の人を何人か選んでバビロンの町に連れてくるように命じました。それは、これから3年間勉強して王様に仕える家来にするためです。その中にはまことの神さまを信じるダニエルと三人の友達もいました。バビロンの王様は彼らに特別に自分と同じ食べ物を食べるようにと決めていましたが、ダニエルたちはそれが偶像の神さまに捧げられたものであったり、モーセが律法の中で禁じている物であることを知って「自分たちには野菜と水だけを下さい」と言って世話をしてくれる人に頼みました。ダニエルたちはどんなことがあっても神さまに従う決意を持っていたのです。神さまは4人を特別に祝福して下さいました。他の誰よりも健康で、また色んなことを悟ることができる知恵をくださり、ダニエルには全ての幻と夢を解くことのできる力を与えてくださいました。国中で誰も彼らにかないませんでした。
☞〈背景〉…捕囚になりながらなぜ豊かな暮らしができるのか子どもたちにはわかりにくいかもしれないので必要に応じて補足してほしい。ダニエルたちはユダの王エホヤキムの治世3年に新バビロニア帝国の王ネブカデネザル(2世)によって連れていかれたと考えられており、まだ少年であった。ネブカデネザルは被征服民族をも登用する政策をとっておりダニエル等王家の血筋を引く若者たち(ユダ部族)はエリート教育を受けることになったようである。	
☞(5節)「三年間」…宮廷に仕える訓練期間は一般的に14歳頃から3年間かけて行われた。ダニエル達もそれに近い年代であったのだろう。	
☞(9節)異国の地で神さまに従う決意をもったダニエル達であるが、子どもたちの中には自分にはそんな勇気はないと考える者もいるかもしれない。ダニエル達は自分の力でこの状況に立ち向かったのではなく神の大きな恵みと憐れみの御手がのばされていたことを是非伝えてほしい。	
☞(12節)「野菜」「水」…肉とブドウ酒が偶像に捧げられていたため食さなかったと考えられる。	

□ポイント2 ダニエルは人々から妬まれてライオンの穴に投げ込まれてしまいました(6:1-18)

ダニエルは外国の偶像を拝んでいる国でも王様の下で一生懸命働きとても良い仕事をしました。神さまが特別な知恵をダニエルに与えてくださっていたのです。また、どんなに忙しくても毎日決まった時間に三度まことの神さまにお祈りすることを忘れることはありませんでした。王様はダニエルをとて信頼して全国を治めさせようとしていました。ところが面白くないのは他の大臣たちです。「なんでダニエルだけ、ずるいぞ！」何とかしてダニエルを引きずり落とそうとするのですが悪口を言うところが見つかりません。

そこで彼らはダニエルが信じている神さまのことでダニエルを訴えようとしてしました。大臣たちは王様に言いました「王様、これから 30 日間、王さま以外のどんなものにも拝んではいけないという法律を作りましょう。もし破ったらライオンの穴に投げ込むのです！」大臣たちの悪だくみを知らない王さまは「それは良い！」といって命令を出してしまったのです。まことの神さまを信じるダニエルは決して他のものを拝むことはありません。いったいどうなるのでしょうか！ダニエルは命令が出されてからも今までと同じようにまことの神さまだけを礼拝したのです。それを見た大臣たちは早速王様に訴えました。王様はやっと大臣たちの悪だくみに気づいたのです。でも、一度出した命令は取り消すことができません。ダニエルはお腹を空かせたライオンの穴に投げ込まれてしまいました。王様は心配で一晩中眠ることができませんでした。

☞(7 節)「獅子の穴」…当時、法を犯した者をライオンの餌食にする刑罰があった

□ポイント3 神さまはライオンの穴の中でもダニエルを守ってくださいました(6:19-28)

夜が明ける頃王様は急いでライオンの穴に向かい叫びました「ダニエール！あなたの神さまはあなたを助けることができたか～？」するとどうでしょう！穴の奥からダニエルの声が聞こえるではありませんか！「王様～！神さまがライオンの口をふさいでくれたので食べられることはありませんでしたよ～！」王さまは非常に喜んでダニエルを穴から助け出してくれました。ダニエルには傷一つありません。代わりに悪だくみをした大臣たちがライオンの穴に投げ込まれてしまいました。王様は国中に手紙を送って言いました「ダニエルの神さまこそ、本当の神さまだ！」

☞(20 節)「生ける神のしもべ」…他の人々がダニエルに対し(13 節)「ユダからの捕虜の一人」と呼んでいるのに対しダリヨス王は「生ける神のしもべ」と呼んでいることは注目に値する。王はダニエルから他の家臣たちとは違う何かを感じ取っていたのであろう。キリスト(神)の香りが放たれていても分かる者と分らない者がいる。

□結論 神さまは信じて従う者を守り救ってくださるお方です

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. あなたの学校や家庭で神さまを信じているのは自分だけという人はいますか？ダニエルは何があっても神さまを信じて従っていく決意を持っていました。神さまはどんなことがあっても必ずそこから守って救ってくださる力あるお方だと知っていたからです。ダニエルのように神さまを信じて従っていこう！神さまは必ずあなたを守ってくださいます。
2. あなたは神さまを信じない人たちの中でどのように生活していますか？神さまを信じている者らしく歩んでいますか？ダニエルは本当の神さまを信じない人々の中でも、神さまを信じ、良い行いに努めて王様の信頼を得ることができました。神さまを信じて従う人は、この世でも輝いて生きることができます。